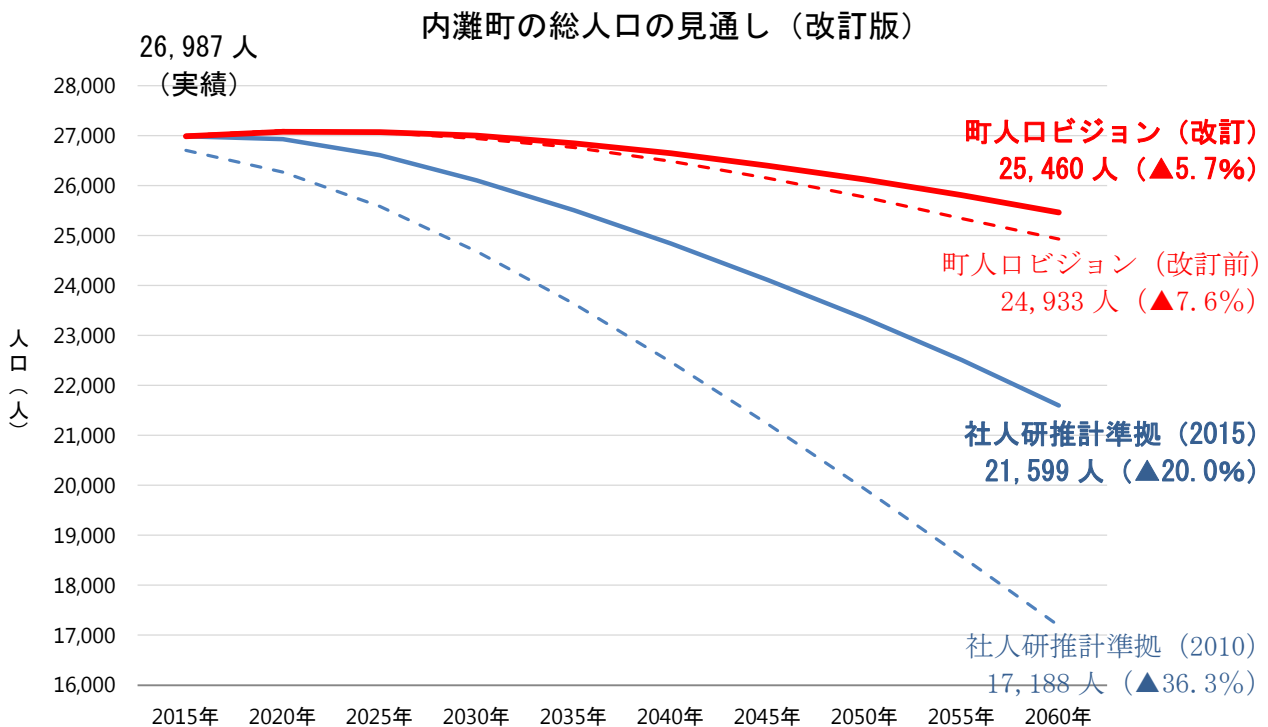


内灘町人口ビジョン（令和2年改訂版）の概要

- 社人研の推計が、2010年国勢調査ベースから2015年国勢調査ベースに更新
- **社人研の推計に準拠**すると、2060年の本町人口は **21,599人まで減少**（前回推計では17,188人）
- 国の示す合計特殊出生率の上昇及び本町独自の取組により社会増減の目標を達成することで、将来目標を「**2060年に人口25,000人を確保する**」に設定（第1期同様）



各推計における条件設定

	自然増減	社会増減
社人研推計準拠	現状の合計特殊出生率が維持	東京圏等への流出が一定程度続く
内灘町人口ビジョン（改訂版）	合計特殊出生率 2030年 1.8、2040年 2.07	2020年以降、子育て世帯（30歳代夫婦+0~4歳の子ども1人）が年間10世帯転入
（参考）内灘町人口ビジョン	合計特殊出生率 2030年 1.8、2040年 2.07	2015年以降、子育て世帯（30歳代夫婦+0~4歳の子ども1人）が年間10世帯転入

第2期内灘町まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本的な考え方

<2016年以降の現状>

- 2015年国勢調査以降、総人口は減少に転じ、2018年までの3年間で約200人減少。
- 自然動態は自然減の状況が続いており、合計特殊出生率は1.2を下回る低水準。
- 社会動態は、やや転出超過。
- 第3次産業の就業者数が増加傾向にあり、働く町民の7割が町外で就業。

<課題の整理>

- 合計特殊出生率は低いものの、**30歳代と10歳未満の子育て世帯は転入超過の傾向**がみられる。
- 合計特殊出生率は、本町の特性である20歳代女性の婚姻率の低さと学生割合の高さの影響を受けやすく、**今後も子育て世帯の転入によって低出生率を補う**ことが必要。
- 今後、大きな宅地造成が見込まれない中、**良好な住環境の整備や空き家の利活用促進によって、町への移住・定着を図る**ことが必要。
- 新成人を対象としたアンケート調査では、女性の方が男性より転出願望が強く、また、将来のまちづくりで望む施策は公共交通に関するものが最も多いことから、**公共交通環境の充実によって若年世代の町への定着を図る**。
- 首都圏をはじめ町外居住者に対し**本町の魅力を発信し、本町との関わりを持つ機会を創出することによって関係人口の創出・拡大を図り、将来的な移住・定着につなげる**ことが必要。
- 町内の経済の活性化や町民のしごとの場を確保するため、**町内での起業・創業を支援するなど新たな産業の創出を図る**ことが必要。

<総括>

- 第1期における本町の地方創生の取組により成果のみられるものもあるが、地方創生は一朝一夕では成し得ないことから、**中長期的に継続して取り組む**ことが必要。



<基本方針の変更>

現行		改訂後
<基本方針1> 子育て環境の充実による定住促進及び合計特殊出生率の向上を図ります	変更 ①	<基本方針1> 移住定住を進め、子どもを産み育てやすい活力あるまちづくり
<基本方針2> 町民がずっと元気に暮らせる健康寿命の延伸を目指します	変更 ②	<基本方針2> 安全・安心な暮らしによる健康のまちづくり
<基本方針3> 安全・安心な暮らしを確保する住みよいまちづくりを進めます	変更 ③	<基本方針3> 豊かな自然・歴史・文化と都市・交通機能が調和した心地よいまちづくり

第2期内灘町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (第1期からの主な変更内容)

○ 枠組に「横断的な視点」を追加

基本目標

1

子どもを産み育てやすい環境をつくり、
地域への愛着を育む

- 結婚・出産しやすい環境づくり
- 子どもを育てるサポート体制づくり
- 未来の内灘町を担う人づくり

基本目標

2

まちの魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

- 住環境の整備による移住・定着の促進
- 移住促進及び関係人口の創出・拡大
- 観光振興等による交流人口の拡大

基本目標

3

地域の交流を強化し、安全で安心な暮らしをつくる

- 1町会1公民館体制による地域コミュニティの充実
- 安全で安心な暮らしを支える都市機能の強化
- 町民が元気に安心して暮らせる環境の充実
- 豊かな自然の未来への継承

基本目標

4

まちの活力を生み出し、
安心して働ける産業を育成する

- 地場産業や次世代産業の振興
- 多様な就労に対する雇用環境の充実

【横断的な視点1】多様な人材の活躍を推進する

- 多様なひととびとの活躍による地方創生の推進
- 誰もが活躍する地域社会の推進

【横断的な視点2】新しい時代の流れを力にする

- 地域における Society 5.0 の推進
- 地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり

○ 具体的施策イメージ (SDGsのゴール)

施策1-1 結婚・出産しやすい環境づくり

【重要業績評価指標 (KPI)】

- 出生数 188人 (2018年度) → 231人 (2024年度)
- 婚姻届提出数 137件 (2018年度) → 137件 (2024年度)
- 不妊治療助成件数 28件 (2018年度) → 30件 (2024年度)

【SDGsのゴール】



第2期内灘町まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策体系

内灘町人口ビジョン

将来目標人口
2060年に2.5万人を確保

目指すべき将来のまちのすがた

ひと・まち・海が輝き
笑顔あふれる都市
うちなだ

基本方針

- ① 移住定住を進め、子どもを産み育てやすい活力あるまちづくり
- ② 安全・安心な暮らしによる健康のまちづくり
- ③ 豊かな自然・歴史・文化と都市・交通機能が調和した心地よいまちづくり

推進期間

令和2年度～令和6年度
(2020) (2024)

基本目標

子どもを産み育てやすい環境をつくり、地域への愛着を育む

- 合計特殊出生率 1.12 → 1.58
- 年少人口割合 13.3% → 12.8%以上

まちの魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

- 社会増減（転入者数－転出者数） Δ56人 → 30人
- 町内年間宿泊客数 21,075人 → 23,000人

地域の交流を強化し、安全で安心な暮らしをつくる

- 要介護認定率 14.8% → 抑制
- 上水道管耐震化率 22.4% → 25.2%

まちの活力を生み出し、安心して働ける産業を育成する

- 担い手への農地集積率 89% → 90%
- 内灘町商工会組織率 51.5% → 53%

主な重要業績評価指標（KPI）

結婚・出産しやすい環境づくり
出生数：188人 → 231人 など

子どもを育てるサポート体制づくり
0歳児保育利用率：48.5% → 60% など

未来の内灘町を担う人づくり
地域行事参加児童割合：69.7% → 80% など

住環境の整備による移住・定着の促進
空き家バンク登録物件の成約数：4件 → 10件 など

移住促進及び関係人口の創出・拡大
町住宅支援制度を活用した転入世帯数：— → 200世帯 など

観光振興等による交流人口の拡大
観光案内所来場者数：1,142人 → 2,500人 など

1町会1公民館体制による地域コミュニティの充実
公民館自主事業参加者数：3,900人 → 4,300人 など

安全で安心な暮らしを支える都市機能の強化
橋梁延命化：3橋 → 7橋 など

町民が元気に安心して暮らせる環境の充実
成人の週1回以上のスポーツ実施率：52.4% → 65% など

豊かな自然の未来への継承
家庭系もえるごみ量：639g/人日 → 639g/人日 など

地場産業や次世代産業の振興
新規就農者数：10人 → 12人 など

多様な就労に対する雇用環境の充実
女性創業者数：5人 → 10人 など

主な施策

- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の推進
- 若者の出会いや結婚生活の支援
- 地域における子育て支援の充実
- 子どもと保護者の健康の確保及び増進
- 職業生活と家庭生活との両立の推進
- 保護や特別な支援が必要な子どもへの支援体制の整備
- ふるさとの歴史・伝統・自然を守る未来につながる教育の推進
- 異なる文化や価値観を尊重した世界に通じる人づくりの推進
- 確かな学力を育み、一人ひとりの可能性を伸ばす教育の推進
- 家庭・地域・学校の連携による教育力の向上
- 豊かな人間性を育み、心身ともにたくましい人づくりの推進
- 移住・定住促進に向けた住環境整備と支援
- 地域の移動を支える公共交通環境の充実
- 総合的な空き家対策の推進
- 移住者の誘致促進
- 関係人口の創出・拡大
- 観光客等の受け入れの推進
- 交流ネットワークの強化
- 地域住民が主体となる防災活動の推進
- 地域コミュニティ活動の推進
- 安全安心な道路網や街なみの整備
- 公園・緑地の整備と維持管理
- 水道水の安定供給と下水処理機能の維持管理
- 防犯・交通安全対策の強化
- 消防活動の推進と救急体制の強化
- 石川中央都市圏における広域連携の推進
- 行政機能の強化
- 地域で支える医療・福祉環境の充実
- 障害者の日常生活自立支援
- 町民の健康づくり活動の推進
- 在宅生活を営むための支援
- がんや生活習慣病をはじめとする疾患の発症・重症化予防のための支援
- 省資源・省エネルギー対策の推進
- 水資源の保全
- ごみの減量と適正処理の推進
- 農水畜産業の育成・支援
- 地域資源を活かした特産品づくり
- 新規産業の誘致や起業・創業支援
- 各種産業への支援
- 働きやすい職場環境づくり
- 高齢者等の就労機会の促進

横断的な視点

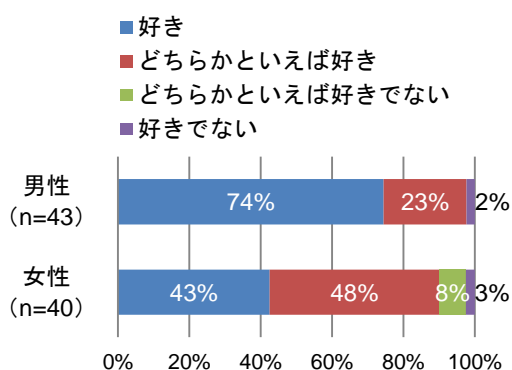
<p>多様な人材の活躍を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進 誰もが活躍する地域社会の推進 	<p>新しい時代の流れを力にする</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域におけるSociety 5.0の推進 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり
---	---

(参考) 新成人アンケート調査の概要

1. 実施日・場所 令和2年1月12日(日) 内灘町成人式(内灘町文化会館)
2. 回答者属性 【性別】男性43人、女性40人 合計83人
 【現住地】男性：町内70%、県内他市町11%、県外19%
 女性：町内61%、県内他市町4%、県外36%

2. 回答内容(抜粋)

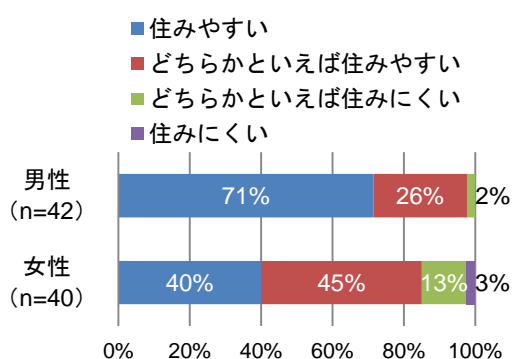
【内灘町が好きですか】



《好きでない理由》

- 交通が不便
- 良い思い出がない

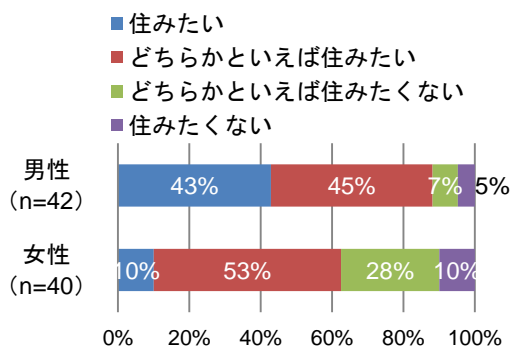
【内灘町の住み心地はどうですか】



《住みにくい理由》

- 交通が不便(バス・電車少ない、車必要)
- 白帆台が交通不便、店少ない
- 不便

【将来、内灘町に住みたいですか】



《住みたくない理由》

- 金沢市内に行きたい
- 都会に出たい(他のところに行きたい)
- アクセスが悪い(車が要る)
- 好きではない
- 人がいない

【将来に向け内灘町がどんなまちづくりに力を入れたらよいか】

